

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和3年 2月15日

事業所名 特定非営利活動法人どんぐりはうす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2		
	2	職員の配置数は適切であるか	7	3	その日により見守りが出来る職員が少ない時があり、声の掛け合いを増やし対応している	その日の利用者にもよる
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	2	手すりの設置や廊下にある物を別の場所に移動したりしている	玄関にスロープは設置しているが施設内の少しの段差あり廊下にも物がある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	5	定期的に会議の設定を予定している	PDCAサイクルの会議が開かれていない まだ出来ているとは言えない
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2		
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	4	次年度も年間計画を作成し予定している	外部講師を招いて研修している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	4	個人面談を行い、保護者のニーズや課題を聞いている	保護者のニーズの部分がまだだと思う
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	4		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	3	行事等を考慮しプログラムを作成し、参加は子どもの意思を尊重している	曜日で担当を決め無理のないように話し合っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	2		
	13	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	3		

供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	終礼時に職員で支援について話し合い記録もしている	個々に気付いたこと、知りえた情報を職員間で共有するようになっている
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	3		
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1		
	19	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	3	7		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2		
	21	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	1		
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	2		受け入れなし
	23	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	1		
	24	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	2		
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	5	利用者によって専門機関に相談を行っている 今後も継続する予定	行えていない
	26	協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	1		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2	送迎時に伝えるだけでなく、連絡ノートを活用し保護者と連絡を取り合っている	個別に話す機会が少なく送迎時しかない送迎時に報告するようになっている 連絡ノートに記入し伝えるようになっている
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	7		
	29	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	3		

保護者への説明責任等	30	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	10	0		
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	悩み事などを聞き入れ、個人の職員だけでなく、ほかの職員とともに考えるようにしている	適切な助言が出来ない 勉強不足である
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	3		コロナにより最近はしていない
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	意見箱の要望を考慮し活動に反映させている	意見箱設置し小さな事にでも耳を傾ける努力をしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	必要に応じ定期的な便りだけでなく随時発信をしている	月に1回どんぐりだより、どんぐりの行事は前もって保護者に伝えている
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0		意思表示が難しい子供に絵カードを見せ意思の確認をしたり伝えたりしている
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	4		コロナ感染拡大以前は交流をしていた	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1		
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	6	4		
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	2		
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0		
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載している	8	2		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。